

SSH特別講座「気付く・探る・考える」

10月22日(火)6・7限に本校体育館でSSH特別講座「気付く・探る・考える」が開講されました(写真①～③)。この講座は普通科・理数科1年生全員を対象にして毎年実施されていて、今年度の講師は

環境省 大臣官房秘書課 課長補佐 安藤 祐樹 さん

でした。安藤祐樹さんは2014年に環境省へ入省し、本省での勤務や阿寒摩周国立公園での勤務、沖縄のやんばる地域での勤務を経験されています。その経験を生かし、「環境省レンジャーのお仕事」というテーマで、フィールドワークのあり方や動植物との向き合い方について講演していただきました。講演会には県立千葉中学校の教員や、千葉県総合教育センターの指導主事にも参加していただきました。講演内容は大きく分けて、以下の4つでした。

- ・環境省の組織や仕事について
- ・阿寒湖自然保護官事務所での仕事について
- ・世界遺産について
- ・やんばる自然保護官事務所での仕事について

北海道や沖縄の写真をたくさん使ったスライドで、動植物をどうやって保護していくか、その地域の住民との関わりやどう連携をしていくかなど、おもしろい内容ばかりでした。安藤祐樹さんは沖縄でやんばる国立公園の世界自然遺産の登録手続きに携わっていたこともあり、世界遺産に関する内容は特に生徒が興味を持って聴いていました。質疑応答の時間には普通科・理数科問わず、多くの生徒から質問が出ました。

生徒アンケートの分析からは、講演会を通して、自分が住む地域や世界の一員として、何ができるか考えられる力が一番向上したという結果が得られ

ました。また、講演会以前は環境省の仕事内容について漠然としたイメージしか持っていなかったが、実はフィールドワークもたくさんあり、アクティブな仕事であると、イメージが一新されたようでした。

パソコン甲子園2024プログラミング部門成績優秀証

9月16日(月・祝)に開催されたパソコン甲子園2024プログラミング部門予選に、理数科2年生ペア、普通科2年生ペア、普通科1年生チームの3ペア、計6名が参加しました。この大会は会津大学や福島県、全国高等学校パソコンコンクール実行委員会が主催し、文部科学省やデジタル庁などが後援していて、様々な有名企業が協賛しています。全国の高校生、高等専門学校生等が、情報処理技術における優れたアイデアと表現力、プログラミング能力等を競い合います。

予選は3時間の個人戦で、学校からオンラインで参加し、その結果、

普通科2年生の**柏木陸翔**くん、理数科2年生の**平澤駿汰**くんの2名が**成績優秀証**を取得しました。成績優秀証は会津大学入学者選抜で学校推薦型選抜の出願資格を有することを証するものです。



↑写真① ↓写真②



↑写真③

SSH 活動掲示板は

こちら→



これまでの SSH 通信は

こちら→

